

- 問1 安土桃山時代の文化について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。千利休が作ったとされる茶室「待庵（たいあん）」の構造などの特徴も踏まえて答えなさい。（2020年 岩手県公立入試 類似）
1. 大名や豪商の富を背景に、豪華な城郭が築かれる一方で、質素な「わび茶」の精神を反映した茶室もつくられた。
 2. 鎌倉時代に広まった仏教の影響を受け、素朴で力強い武士の精神を反映した文化が主流となった。
 3. 江戸時代の町人たちの経済力を背景に、浮世絵や人形浄瑠璃などの華やかで親しみやすい文化が発達した。
 4. 貴族の生活が中心となり、遣唐使の廃止に伴って日本独自の好みを反映した繊細な文化が栄えた。
- 問2 豊臣秀吉が行った「太閤検地」の内容とその意義について、最も適切な説明はどれですか。（2016年 佐賀県公立入試 類似）
1. 徳川家康が関ヶ原の戦いで勝利を収めた後、各地の大名に領地の再編を命じ、石高を確定させた。
 2. 足利義満が南北朝の統一を果たした後、有力な守護大名の勢力を抑えるために土地の面積を調査させた。
 3. 織田信長が築いた安土城を拠点として、商工業を活性化させるために市場の税を免除し、自由な商売を認めた。
 4. 全国でバラバラだった升の大きさを統一し、一つの土地につき一人の耕作者を検地帳に登録して、年貢の負担責任を明確にした。
- 問3 16世紀後半、織田信長や豊臣秀吉が天下統一を進めた時期に栄えた文化の特色として、最も適切なものはどれか。（2018年 福岡県公立入試 類似）
1. 公家と武家の文化が混じり合い、禅宗の影響を強く受けた文化
 2. 上方の町人を主な担い手とした、人間味豊かな文化
 3. 戦国大名の威風を反映した、豪華で壮大な文化
 4. 唐の影響を強く受けた、国際色豊かな貴族文化
- 問4 織田信長の行動を年代順に並べたとき、1560年の「桶狭間の戦い」よりも後で、1577年の「安土の城下町での楽市令」よりも前の時期に行われた出来事として、正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 将軍の足利義昭を京都から追放し、室町幕府を滅亡させた。
 2. キリスト教の布教を許可し、南蛮貿易を奨励した。
 3. 明智光秀の謀反により、本能寺で自害した。
 4. 鉄砲を組織的に利用し、長篠の戦いで武田軍を破った。
- 問5 豊臣秀吉が、それまで容認していたキリスト教に対して宣教師の追放を命じるに至った、当時の具体的な理由として当てはまるものはどれですか。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
1. 長崎がイエズス会に寄進されるなど、日本の領土の一部が実質的に外国勢力の支配下に入ることにに対して強い危機感を持ったため。
 2. 国内のキリシタン大名たちが団結し、明（当時の中国）の皇帝と結んで秀吉を打倒しようとする密約が発覚したため。
 3. キリスト教の教えが神の前での平等を説くものであり、秀吉が築こうとした身分秩序や支配体制を脅かす恐れがあったため。
 4. キリスト教が仏教の一派と結びつき、比叡山延暦寺などの寺社勢力を背景に秀吉の政治に武力で干渉し始めたため。
- 問6 16世紀後半における、日本とポルトガルを中心とした「南蛮貿易」の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれかを選びなさい。（2025年 島根県公立入試 類似）
1. 産業革命を経たイギリスから、機械製品や綿布が日本へ大量に輸出された。
 2. キリスト教の布教を伴い、日本からは銀が、ヨーロッパ側からは鉄砲や硝石などがもたらされた。
 3. 江戸幕府の鎖国政策により、長崎の出島においてオランダとの間でのみ行われた。
 4. 仏教を広めることを目的とした宣教師たちが、日本から茶や陶磁器を大量に買い付けた。
- 問7 16世紀初頭のドイツにおいて、修道士マルティン・ルターはローマ教皇が資金集めのために免罪符（贖有状）を販売している現状を批判し、信仰のよりどころは教会ではなく聖書にあると主張しました。この一連の動きを何と呼びますか。（2024年 秋田県公立入試 類似）
1. 十字軍
 2. ルネサンス
 3. 宗教改革
 4. 産業革命
- 問8 豊臣秀吉が国内を統一した後、明の征服を目指して朝鮮へ大軍を送った二度の出兵に関する歴史的経緯について述べたものとして、正しいものはどれですか。（2017年 高知県公立入試 類似）
1. 大陸での勢力拡大を恐れたモンゴル帝国が仲裁に入り、明との間で平和条約が締結されたため、平和的な撤退が行われた。
 2. 明の皇帝から日本国王の称号を授かることで東アジアの秩序に組み込まれ、正式な国交を樹立して全軍が帰国した。
 3. 朝鮮半島南部の拠点を恒久的に領土とすることに成功し、大陸との貿易を独占することで江戸幕府の財政基盤を築いた。
 4. 二度にわたる出兵が行われたが、朝鮮の民衆による激しい抵抗や、秀吉が病で没したことをきっかけに、日本軍は撤退した。
- 問9 豊臣秀吉が宣教師の国外退去を命じた際、布教活動を禁じる一方で、ポルトガル人らとの「南蛮貿易」については継続を認めました。秀吉がこのように、宗教と貿易を切り離して対応しようとした背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 富山県公立入試 類似）
1. 日本国内の仏教勢力を抑えるために、キリスト教の布教は制限したが、仏教徒が利用していた貿易ルートを確認したかったから。
 2. キリスト教が広がることで日本人が団結し、一向一揆のような反乱が起きることを恐れたが、同時に西洋の優れた武器や物資を入手し続けたかったから。
 3. 宣教師が貿易の窓口となっていたため、国外追放をきっかけにオランダとの独占貿易に切り替えることを目的としたから。
 4. 幕府が定めた鎖国体制を強化するために、まずは宣教師を排除してキリスト教の影響力を弱める必要があったから。
- 問10 次の文は、豊臣秀吉が出した刀狩令の目的について述べたものです。文中の空欄に当てはまる語句として最も適切なものはどれか。「百姓が【 】ことを防ぎ、耕作に専念させるために武器の所持を禁じた。」（2017年 北海道公立入試 類似）
1. 自由に商売を行う
 2. 一揆をおこす
 3. 年貢を滞納する
 4. キリスト教を信仰する
- 問11 16世紀半ばから17世紀初めにかけての出来事を記した略年表において、織田信長や豊臣秀吉が活躍した安土桃山時代に、ポルトガル人やスペイン人の商人が来航して行われた貿易の名称を答えなさい。（2022年 静岡県公立入試 類似）
1. 勘合貿易
 2. 日朝貿易
 3. 日宋貿易
 4. 南蛮貿易
- 問12 日本の戦国時代から安土桃山時代にあたる16世紀のヨーロッパにおいて、当時のキリスト教のあり方を根本から変え、後の社会に大きな影響を与えた出来事はどれか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 宗教改革
 2. 十字軍の遠征
 3. 世界恐慌
 4. フランス革命
- 問13 太閤検地において、土地の生産力を表すために導入された「石高（こくだか）」の仕組みと影響について述べた文として正しいものはどれですか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
1. 土地の所有権をあいまいにすることで、複数の貴族や武士が同じ土地から利益を得る荘園制を維持した。
 2. 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地を登録する原則が確立した。
 3. 実際に収穫された米の重さを毎年計測し、その年の天候に応じて徴収する年貢の割合を変動させた。
 4. 武士が戦場に連れて行く馬の数や武器の量を基準にして、それぞれの領地の価値を定めた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大名や豪商の富を背景に、豪華な城郭が築かれる一方で、質素な「わび茶」の精神を反映した茶室もつくられた。	桃山文化は、権力を象徴する豪華な城郭建築（姫路城や大阪城など）と、内面的な精神性を重んじる「わび茶」という、対照的な二つの面を併せ持っているのが大きな特徴です。千利休が設計した「待庵」はわずかに二畳の広さしかなく、余計な装飾を削ぎ落とした極めて簡素な空間となっており、当時の武士たちの精神的な支えとなりました。
問2	答え 4 全国でバラバラだった升の大きさを統一し、一つの土地につき一人の耕作者を検地帳に登録して、年貢の負担責任を明確にした。	太閤検地では、全国で統一された「京升」を用いて土地の面積や収穫量（石高）を測り直しました。また「一地一作人の原則」により、土地の所有者（耕作者）を一人に特定して検地帳に登録したため、中間搾取を排除して着実に年貢を徴収する体制が整いました。これにより、荘園制が完全に崩壊しました。
問3	答え 3 戦国大名の威風を反映した、豪華で壮大な文化	この時代は、天下統一を目指す戦国大名の強大な権力や富を背景に、力強く華やかな文化が形成された。姫路城などの壮大な城郭建築や、金箔を多用した障壁画はその象徴である。公家と武家の文化が混じり合ったのは室町文化、上方の町人が担い手となったのは元禄文化、唐の影響が強いのは飛鳥・奈良時代の文化であるため、混同しないよう注意が必要である。
問4	答え 1 将軍の足利義昭を京都から追放し、室町幕府を滅亡させた。	室町幕府の滅亡は1573年の出来事であり、桶狭間の戦い（1560年）と楽市令（1577年）の間に位置します。長篠の戦いは1575年、本能寺の変は1582年の出来事です。信長の勢力拡大の過程において、将軍の追放は旧来の権威を否定し、天下統一を推し進める大きな転換点となりました。
問5	答え 1 長崎がイエズス会に寄進されるなど、日本の領土の一部が実質的に外国勢力の支配下に入ることに對して強い危機感を持ったため。	秀吉は九州平定の際、大村純忠が長崎をイエズス会に寄進していたことや、日本人が奴隷として海外に売られている事実を知り、キリスト教の布教が単なる宗教活動にとどまらず、外国勢力による植民地化や領土侵略につながる危険性を察知しました。これが、それまでの融和的な態度を一変させ、宣教師の追放を命じる大きな動機となりました。選択肢にある「平等の教え」への警戒も広義の理由に含まれますが、追放令を出す直接の契機となったのは領土や主権に関わるこうした安全保障上の問題でした。
問6	答え 2 キリスト教の布教を伴い、日本からは銀が、ヨーロッパ側からは鉄砲や硝石などがもたらされた。	ポルトガルやスペインとの貿易は、カトリックの布教活動と密接に結びついていました。南蛮貿易と呼ばれます。当時、石見銀山などで産出量が增大していた銀が日本の主要な輸出資源となり、軍事技術としての鉄砲や、その運用に必要な硝石が輸入されました。オランダとの出島貿易は17世紀以降の出来事です。
問7	答え 3 宗教改革	カトリック教会の腐敗を批判したルターの行動は、印刷術の普及も手伝ってヨーロッパ全土に大きな影響を与えました。この運動により、キリスト教は伝統的なカトリックと、聖書を重視する新しい勢力に分裂することとなりました。
問8	答え 4 二度にわたる出兵が行われたが、朝鮮の民衆による激しい抵抗や、秀吉が病で没したことをきっかけに、日本軍は撤退した。	全国を統一した豊臣秀吉は、明の征服を目的として1592年（文禄の役）と1597年（慶長の役）の二度にわたり朝鮮へ出兵しました。しかし、朝鮮の李舜臣率いる水軍や、各地で立ち上がった民衆（義勇軍）の激しい抵抗に遭い、戦況は膠着しました。1598年に秀吉が病死すると、全軍が日本へ撤退することとなりました。この出兵は、朝鮮の人々に甚大な被害を与えただけでなく、戦費の負担により豊臣政権が弱体化する一因ともなりました。
問9	答え 2 キリスト教が広まることで日本人が団結し、一向一揆のような反乱が起きることを恐れたが、同時に西洋の優れた武器や物資を入手し続けたかったから。	秀吉は、キリスト教徒が強固に団結することが天下統一後の支配の脅威になると考え、宣教師の国外追放を断行しました。しかし、当時は火縄銃の原料となる硝石や、中国産の生糸といった戦略的に重要な物資を南蛮貿易に頼っていたため、貿易の利益を失うことを避けるために宗教活動のみを制限しようと試みました。江戸時代の「鎖国」へと繋がる、キリスト教政策の初期段階の対応です。
問10	答え 2 一揆をおこす	刀狩の最大の目的は、百姓が武器を持って集団で抵抗する「一揆」を防ぐことにありました。武器を没収することで反乱のリスクを減らし、百姓を農業に専念させて年貢を確実に確保しようとしたのです。
問11	答え 4 南蛮貿易	16世紀半ばにポルトガル人が種子島へ来航し鉄砲が伝来したことや、スペイン人のフランシスコ・ザビエルによってキリスト教が伝えられたことをきっかけに始まった貿易です。当時、ポルトガルやスペインの人々は「南蛮人」と呼ばれていたため、この名称がつきました。室町時代に明（中国）との間で行われた勘合貿易や、平安時代の日宋貿易とは時期や相手国が明確に異なります。
問12	答え 1 宗教改革	16世紀は日本では織田信長や豊臣秀吉が活躍していた時代です。この時期のヨーロッパでは、ルターやカルバンらがカトリック教会の改革を求めた宗教改革が起こっていました。十字軍は11世紀から13世紀、フランス革命は18世紀末、世界恐慌は20世紀の出来事であるため、時期が異なります。
問13	答え 2 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地を登録する原則が確立した。	太閤検地では、測量した面積に土地の良し悪しに応じた「等級」を掛け合わせ、予想される米の収穫量を「石高」として定めました。また、検地帳には実際に耕作している農民の名前が一人だけ登録される「一地一作人の原則」がとられました。これにより、複雑だった荘園制の権利関係が整理され、農民が年貢を納める責任者であることが明確になりました。